



航空祭ファンイベントで募集広報



埼玉地方協力本部入間地域事務所（所長 村上2空尉）は、十一月三日（水）所沢市のホビーショップにて行われた航空祭ファンイベント「航空祭ロスの会」において、募集広報ブースを出展した。

これは例年十一月三日に、行われている入間航空祭が新型コロナウイルスの影響により、二年連続の中止となったことをうけ、近隣に在住する航空ファンが自発的に企画したもので、埼玉地本もこれを募集の好機と捉え、参加が実現した。

秋晴れとなったイベント当日は約一〇〇名が来場、2年連続の航空祭中止を惜しみ、来年の航空祭実施を望む声が多く聞かれた。

会場では、埼玉地本マスコットキャラクター「サイポン（そら）」が登場。また、入間地域事務所広報官が航空ヘルメット、救命装備品といった装備品の展示等を行った。中でも装具の試着コーナーなどが人気を集めた。

埼玉地本では、今後も自衛隊をより身近に感じてもらえるよう地域のイベントに積極的に参加し、地元で密接した募集広報を行っていくとしている。



北野中学校での授業を実施

埼玉地方協力本部入間地域事務所（所長 村上2空尉）は十一月十日（水）所沢市の北野中学校において「働くことについて」というテーマの授業を行った。

本授業は、総合学習の一環であり、同校からの依頼をうけ実施した。埼玉地本は、1グループ25名から成る3グループに対し、ロープワーク体験、自衛隊の活動紹介及び質疑応答を行った。

ロープワーク体験では本結び、身体もやい結びを紹介。当初は担任の先生も含め参加者全員が苦戦していたものの、広報官からの丁寧な説明を受け、繰り返し行ううちに最後には結べるようになっていった。

自衛隊の活動紹介では「自衛隊がとても大きな組織であることが分かった」、「色んな分野があつて面白そう」などの声が生徒から聞かれた。質疑応答では「お給料はいくらぐらいですか」、「災害派遣ではどんなことをしますか」など様々な質問があり、広報官がこれに対し一つ一つ丁寧に答えていた。

